

## インターバンクの声（2016年7月13日）

ニューヨーク市場の終盤、ドル/円は104円98銭まで円売りが進んだ。欧州連合（EU）からの離脱を決めた先月24日の英国国民投票前の水準まで戻したことになる。参議院選挙での自公与党の圧勝の後、安倍首相が大型経済対策を打ち出す考えを表明し、確かに日本国内でも資金が株式に向かっているが、ここ数ヶ月間散々痛い目にあってきた日本人にはなかなか株式に投資する勇氣は出て来ない。昨夜も英FTこそ小幅安で終わっているが、その他の欧州株、そしてニューヨーク株は軒並み続騰している。NYダウ平均は昨年5月に付けた最高値を更新した。いつもながら外人勢の思い切りの良さには感心するばかりだ。昨日は50ドルを割って以降も下げが続いていた原油価格が大幅に上昇している。この2日間で米国10年債利回りは0.15%の上昇、5年債は0.13%上昇している。久々に日米金利差を意識させたことも円売りを加速させたが、市場参加者の多くは26-27日の米連邦公開市場委員会（FOMC）で利上げがあるとの考えまでには至っていないはずだ。正直105円でドルは買い難い。

---

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。